

第3回 本格駆除エリア経過観察地点の継続調査

美しい手賀沼を愛する市民の連合会

日時：2021年6月21日（月）10:00～12:00

集合：9:45 親水広場 第2駐車場

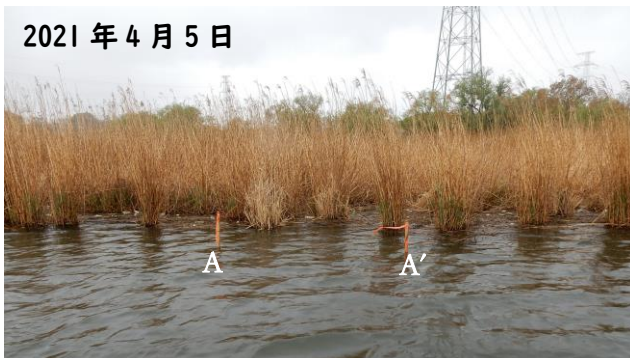
場所：手賀沼大堀川河口部

船の運航：みずすまし号 古川、片瀬（NPO法人アルバトロスヨットクラブ）

参加：千葉県立中央博物館 林紀男さん 美手連 6人

（1）継続観察地点状況 ※ナガエツルノゲイトウ（以下、ナガエ）、オオバナミズキンバイ（以下、オオバナ）

A⇔A'



A地点に第二機場前の駆除作業から漂着したと思われる切片多数漂着



ヨシの間から広がって繁茂している。

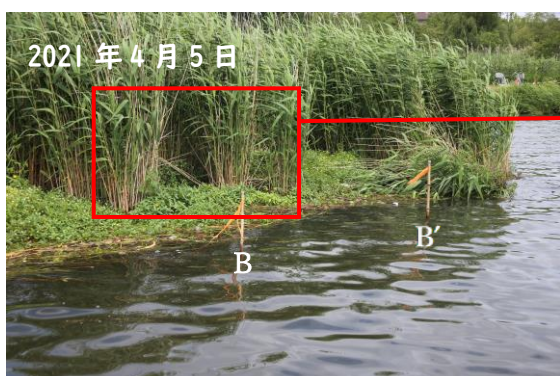
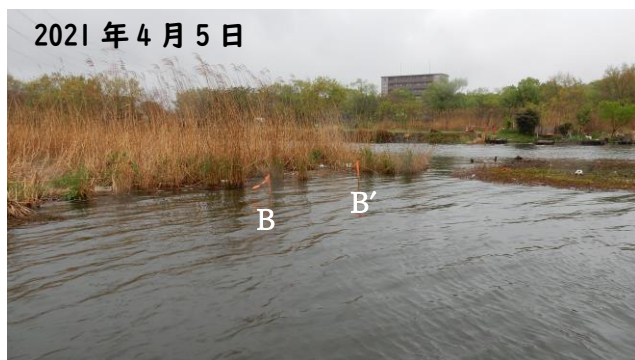


至る所から再生し、繁茂している。

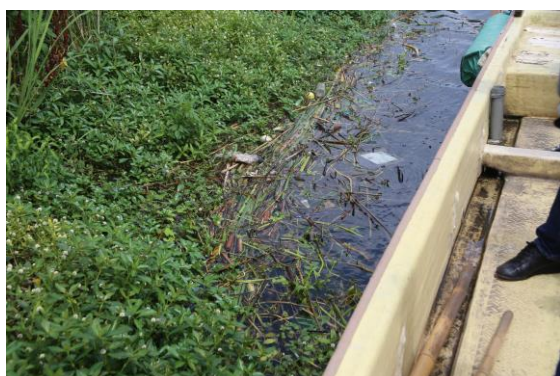


岸から離れてオオバナが再生している。
取り残しの根から生長していると思われる。

B⇔B'



ヨシの間から広がって繁茂している。新しい切片が一带におもて漂着している。



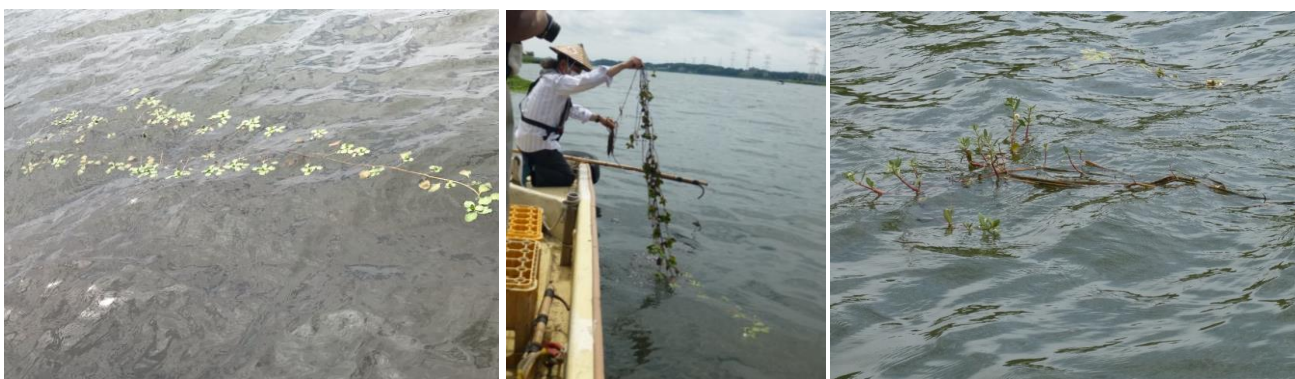
大堀川河口にナガエが水中から再生している。
取り残した根から生えてきたようだ。

C





ミシシippアカミミガメとクサガメの交雑種が
12匹死んでいた。20cm くらいの大きさ。



岸から十数メートル離れたところにオオバナ（左）が浮葉を伸ばしていた。引き上げると根付いていた。ナガエ（右）が同様に再生していた。このような状態のナガエ・オオバナを多数確認した。

（２）調査結果

- ・ 4月の調査時に発芽していたナガエ・オオバナが、全域にわたり帯状に繁茂していた。
- ・ 現在第二機場前で5月連休明けから刈り取り船による駆除作業を実施している。調査全域で、その際、流出したと思われる切片が多数漂着しているのを確認した。
- ・ 沿岸から沖へ離れた水中からナガエやオオバナが発芽し、水面に茎を伸ばしている状態を多数確認した。根を張っていて、昨年度の本格駆除の際の取り残しから再生したものと思われる。

（３）考察

- ・ 予想以上に、再生していた。これから暑くなるにつれ、より一層拡大するものと推測される。駆除前の群落状態に戻るのも時間の問題である。早急に対応する必要がある。
- ・ 岸際で繁茂しているのは、取り残しが原因なのか、漂着したものが根付き再生したのか、船上からの目視では判別できなかった。次回の調査では、根を掘り起こし検証することにした。